

かしわ



オリヒメのお話

校長 北村 耕一

「オリヒメ」というと皆さんが思い浮かべるのは「七夕」ではないでしょうか？インターネット検索で「暮らし歳時記」というHPを読んでも次のようなことが書かれていました(省略して載せませす)

「七夕の由来は、皆さんもご存知の織姫・彦星の星物語から始まります。新暦の7月7日はまだ梅雨のさなかで星空もよく見えないかもしれませんが、旧暦の七夕は現在の8月なので夜空もきれい。月遅れで東の空を見上げてみてはいかがでしょう。(中略)

この物語は、天の川の西岸に織姫という姫君が住んでいました。織姫は機織りの名手で、美しい布を織り上げては父親である天帝を大変喜ばせておりました。そんな娘の結婚相手を探していた天帝は、東岸に住む働き者の牛使い彦星を引き合わせ、二人はめでたく夫婦になりました。



ところが、結婚してからというもの、二人は仕事もせず仲睦まじくするばかり。これに怒った天帝が、天の川を隔てて二人を離れ離れにしました。しかし、悲しみに明け暮れる二人を不憫に思った天帝は、七夕の夜に限って二人が再会することを許しました。こうして二人は、天帝の命を受けたかまきり(カマキリ)の翼ののって天の川を渡り、年に一度の逢瀬をするようになったという物語です。」

本校では毎年、幼稚部がたなばたの会を行い、大矢部中学校の協力で笹をいただき、短冊に願い事を書いています。小学部では井上先生が朝の会で七夕について話してくれました。

No. 5 令和元年7月12日 今年も睡蓮が咲きました

今回、私がお伝えするのはこの七夕の「織姫」ではなく、「オリヒメ」と名付けられたロボットのお話です。

私が「オリヒメ」に関連するマスコットの記事を初めて目にしたのは今年の秋でした。プレゼントという雑誌の2018.11.12号に「オリヒメ」を制作したリイ研究所代表の吉藤健太郎氏とジャーナリストの田原総一郎氏の対談記事を読んでいた時に「オリヒメ」の存在を知りました。

「オリヒメ」は遠隔人型分身コミュニケーションロボットです。吉藤氏是对談の中で「(前略)世の中には体が不自由なことで孤独感を持っている人が多いことに気づきました。(中略)孤独は悪循環します。人と会うのが怖いから、近寄れなくなる。人と会わないと、話すこともできなくなって、自分に劣等感を抱きます。そして劣等感を抱きたくないから、さらに人を避けるようになる。このスパイラルをどこかで断ち切らないと、孤独の解消は困難です。(中略)外に体を運べない人も、自分の分身があればそこに心を運んで社会参加することができる。そういうツールをつくらうと思いました。」と述べていました。

「オリヒメ」は体の不自由な方が物理的に他者＝人と関われない環境下でコミュニケーションをとる道具として開発されました。コミュニケーションの方法・手段は人々によって異なると思いますが、人と関わろうとする気持ちを持つことは大切なことだと思います。

七夕の物語の主人公の名前が付けられたコミュニケーションロボット「オリヒメ」。県内の特別支援学校2校(県立横浜南養護学校・横浜市立浦舟特別支援学校)では昨年度から試験的に導入されています。夏休み、夜空を見上げながら、これからのコミュニケーション方法の進化を想像してみるのも楽しいかもしれませんね。

楽しいことばかりだった修学旅行

小学部 鈴木 紀子

1日目は5月のさわやかな風と美しい青空が広がる旅行日和となりました。日光は混雑もなく移動がスムーズで、無理なくゆったりと見学することができました。小型観光バスに乗って移動することもうれしかったのではないのでしょうか。いろはの看板を一つ一つ追って確認しながら車窓の眺めを楽しんだいろは坂。14人で満員の小型のロープウェイで上った明智平からの広大な眺め、ちょうど見ごろの淡いピンク色のつつじの背景に勢いよく流れる竜頭の滝。戦場ヶ原で高原の心地よさを味わい、水量の調整で少し迫力の欠けた華厳の滝を見学したあと宿泊地へ向かいました。高原の瀟洒なホテルのようなおしゃれな佇まいのホテルです。夕飯はレストランで、真っ白なテーブルクロスの上に並べられたお料理をナイフとフォークを使っていただきました。食事中、従業員の方が後ろに控えてやさしい笑顔で見守ってくださっていたのが印象的でした。寝る前のひと時、全員でトランプ遊びも良い思い出になりました。

2日目はどんよりと曇り空でしたが、雨に降られることはありませんでした。輪王寺で説明して下さった学芸員の方が、横須賀市出身の方で「みなさんが来られるのをとても楽しみにしていました。」と歓迎してくださいました。

東照宮など世界遺産をじっくり見学したかったのですが、観光客で大変な混雑の中、写真撮影を終え、お目当ての三猿や眠り猫を見てから奥社へ向かい、207段の石段を上がりきりました。益子焼の絵付けをして、カレーライスをたっぷりお腹に入れてからお土産を真剣に選び、楽しみに持ってきたお菓子を帰りの車内で食べ、たくさんの思い出と一緒に横須賀に戻ってきました。

昨年8月から準備をしていた修学旅行は無事に終わることができました。様々なご協力をありがとうございました。



幼稚部 観音崎校外学習

幼稚部 野田 学

6月18日(火)に観音崎公園に行きました。遠足当日は晴天の夏日でまさに「遠足日和」でした。集合するとリーダーの「しゅっぱーっ！」の掛け声で意気揚々と灯台を目指しました。灯台が見えてくると子どもたちからは「あー、あつたー！」「大きい！」と声が上がりました。灯台の上からは大きな船や横浜・千葉を見ることができました。



灯台の後は磯遊びをしました。大潮だったので浅瀬にはかや小魚など海の生き物が多く見られました。子どもたちはかやヒゲをつついてみたり、恐る恐る手に乗せてみたりして楽しんでいました。お弁当のときも日差しが強かったのでテントを張って食べました。みんなは「お家みたい！」と嬉しそうにお弁当を食べていました。

8・9月の主な行事予定

詳細は学部・学級通信で確認してください

8月28日(水)避難訓練③地震火災訓練

8月29日(木)給食開始

9月2日(月)夏休み作品展～6日(金)

4日(水)HA相談

11日(水)幼稚部：お月見の会、

耳鼻科健康相談(金子 Dr)

12日(木)中高等部期末テスト一日目

13日(金)中高等部期末テスト二日目、

午後中高等部球技大会

18日(水)通級：きこえグループ学習会

19日(木)キャリア教育シャープ株式会社来校

連絡

今年度の「かしわ祭」は、

11月9日(土)です。